

○水生生物モニタリング調査結果一覧（太田川F）

<太田川F 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
F-1	○	○	○	○	○	○

<太田川F 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (°C)	泥温 (°C)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)		
F-1	37.5975°	140.9252°	H29.6.15	10:34	10:58	15.1	15.1	砂	2.5Y4/2	なし	0.36	>50		

<太田川F 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
F-1	37.5975°	140.9252°	H29.6.15	10:34	7.2	0.6	2.7	10.5	5.1	0.03	1.0	2	1.0	0.018	0.13	0.0037

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<太田川F 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
F-1	37.5975°	140.9252°	H29.6.15	10:58	7.2	292	21.1	1.1	1.7	2.661	25.6	22.8	39.0	7.6	1.1	3.9	0.82	9.5	270	2000	0.44

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<太田川F 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
F-1	太田川本流	37.5975°	140.9252°	H29.6.15	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.013	—	—	—	1260	160	1100	—	
					藻類・植物	接合藻	ホシトモ	ホシトモ	<i>Spirogyra sp.</i>	アオミドロ属	—	0.34	—	—	—	—	17.9	1.9	16	—
					節足動物	昆虫	カゲロウ	チラカゲロウ	<i>Isonychia japonica</i>	チラカゲロウ	89	0.0081	幼虫	—	—	—	202	32	170	—
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	123	0.047	幼虫	—	—	—	249	29	220	—
					節足動物	昆虫	トンボ	コヤマトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	39	0.014	幼虫 (ヤゴ)	—	—	238	28	210	—	
					節足動物	昆虫	トンボ	オジロサナエ	<i>Stylogomphus suzukii</i>	オジロサナエ										
					節足動物	昆虫	トンボ	オナガサナエ	<i>Onychogomphus viridicostus</i>	オナガサナエ										
					節足動物	昆虫	トンボ	オオニヤンマ	<i>Sieboldius albardae</i>	オオニヤンマ										
					節足動物	昆虫	トンボ	ヤマサナエ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	ヤマサナエ										
					節足動物	昆虫	トンボ	ミルンヤンマ	<i>Planaeschna milnei</i>	ミルンヤンマ										
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ										
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヤマトクロスジヘビトンボ	<i>Parachauliodes japonicus</i>	ヤマトクロスジヘビトンボ	24	0.0076	幼虫	—	—	63.0	8.0	55	—	
					節足動物	軟甲	エビ	スジエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	18	0.039	成体	—	—	231	31	200	—	
					節足動物	軟甲	エビ	ヌカエビ	<i>Paratya improvisa</i>	ヌカエビ	145	0.047	未成体/成体	—	—	173	23	150	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	2	0.33	未成魚/成魚	ハツタ、ヌカエビ	内臓除去	638	78	560	—	
					脊椎動物	硬骨魚	カジカ	カジカ	<i>Cottus pollux</i>	カジカ	2	0.051	未成魚	—	—	493	63	430	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	11	0.050	未成魚	—	—	295	35	260	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Zacco platypus</i>	オイカワ	2	0.033	未成魚	—	—	274	34	240	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	3	0.092	未成魚/成魚	—	—	263	33	230	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Cobitis biwae</i>	シマドジョウ	10	0.012	未成魚/成魚	—	—	283	33	250	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Lefua echigonia</i>	ホトケドジョウ	9	0.015	未成魚/成魚	—	—	148	18	130	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ススキ	ハセ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	7	0.026	未成魚/成魚	—	—	549	69	480	—	
脊椎動物	両生	無尾	—	—	カエル類	100	0.033	幼生 (オタマシヤガシ)	—	—	80	11	69	—						
粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.26	—	—	—	216	26	190	—						
F-3	太田川本流	37.6045°	140.9636°	H29.6.15	脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	2	0.81	成魚	エビ類	内臓除去	1140	140	1000	—	
F-5	太田川本流	37.6022°	140.9868°	H29.6.15	脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	6	0.58	未成魚/成魚	モクスガニ	内臓除去	206	26	180	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Plecoglossus altivelis</i>	アユ	191	1.3	未成魚	—	—	99	12	87	0.22	

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクtonネットに濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。